

中京大学大学院
人文社会科学研究科 経済・経営学専攻
修士課程
税理士選抜

【専門科目】
「会計学」から2問
試験時間90分(10:00～11:30)

《受験上の注意事項》

一般注意

- ① 受験票は、机の右上に置いてください。
- ② 指示があるまで問題を開かないでください。
- ③ すべての解答用紙に、受験番号と氏名を正しく記入してください。
- ④ 解答は、必ず解答用紙に記入してください（問題用紙に記入しても採点されません）。
- ⑤ 問題文中に特に指示がない場合は、日本語で解答してください。
- ⑥ 試験中は監督者の指示に従ってください。
- ⑦ 試験中、質問等がある場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
- ⑧ 試験終了の指示があったら、ただちに解答用紙への記入をやめてください。
- ⑨ 配付した試験問題は、すべて回収します。

問題について

- ① 問題用紙は本紙を含め全3枚あります。開始の合図があったら、まずすべての枚数がそろっているかを確認し、乱丁・落丁がある場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
- ② 解答用紙は1枚あります。解答用紙が2枚以上になる場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。その場合、解答用紙右上の＜No.＞に番号を記入してください。

机上に置いて良いもの

- 受験票
- 筆記用具
- 時計（時間を計る以外の機能が付いたものは不可）

※これらのもの以外はカバンの中に入れ、床に置いてください。眼鏡、薬、ハンカチ等を机上に置くことを希望する場合は、監督者に申し出てください。

2025 年度 人文社会科学研究科経済・経営学専攻修士課程 前期日程入試問題
税理士選抜「会計学」

〔I〕

棚卸資産の会計に関して、次の全ての小問に答えなさい。

- (1) 棚卸資産の評価（払出単価の決定）方法である個別法、先入先出法、最終仕入原価法のそれぞれについて、①計算方法の概要、②その方法の利点、③その方法の欠点を説明しなさい。
- (2) 販売目的で保有する棚卸資産の期末評価について、低価基準にて棚卸評価損の計上が強制される根拠を説明しなさい。
- (3) トレーディング目的で保有する棚卸資産の期末評価について、期末の時価で評価して貸借対照表に計上するとともに、取得原価との差額を当期の損益として処理する根拠を説明しなさい。

〔Ⅱ〕

日本基準の損益計算書では5種類の利益が段階別に表示されている。これに関して以下の小問すべてに答えなさい。

- (1) 5種類の利益の名称を記し(順不同でかまわない)、各利益の意味についてそれぞれ50字程度で説明しなさい。
- (2) あなたが企業の経営成績を判断するにあたって最も重要であると考える利益を1つ選んで記したうえで、その理由を200字程度で説明しなさい。